T.Miki

THE COPA REPUBLICA ARGENTINA 第62回 アルゼンチン共和国杯（GⅡ）

	1着	2着	3着	4着	5着
本賞	57,000,000円	23,000,000円	14,000,000円	8,600,000円	5,700,000円
付加賞	1,120,000円	320,000円	160,000円		

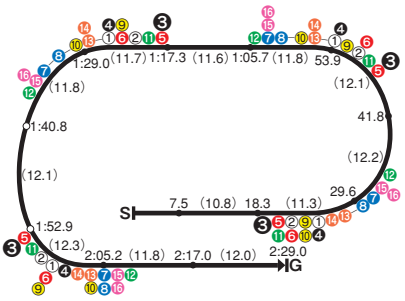
レース映像はコチラでご覧いただけます。

3歳以上、2023.11.4以降2024.10.27まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量　ハンデキャップ

2024.11.3　東京　晴・良　芝2500ﾒｰﾄﾙ　(国際)(特指)

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム(着差)	コーナー通過順位	上り(600ﾒｰﾄﾙ)	馬体重(増減)	単勝オッズ	調教師	ﾚｰﾃｨﾝｸﾞ
1	③	ハヤヤッコ	牡8	58.5	吉田　豊	2:29.0	16-15-15-15	34.6	480(－2)	35.3⑩	国枝　栄(美浦)	113
2	④	クロミナンス	牡7	58	戸崎圭太	クビ	8-9-9-9	35.3	484(±0)	3.4①	尾関知人(美浦)	111
3	⑨	タイセイフェリーク	牝4	52	大野拓弥	ｱﾀﾏ	10-11-11-10	35.1	422(－6)	16.0⑥	田中克典(栗東)	99
4	⑪	アドマイヤハレー	牡6	55	田辺裕信	1	14-14-14-14	35.0	468(－4)	51.6⑫	宮田敬介(美浦)	103
5	⑥	マイネルメモリー	牡4	55	Aｼｭﾀﾙｹ	¾	12-12-11-10	35.4	466(＋12)	19.5⑧	宮　徹(栗東)	
6	⑭	セレシオン	牡5	57	荻野　極	1¼	7-7-7-8	36.1	462(－10)	4.2③	友道康夫(栗東)	
7	②	メイショウブレゲ	牡5	56	酒井　学	½	12-12-13-13	35.6	472(－2)	24.4⑨	本田　優(栗東)	
8	⑬	サヴォーナ	牡4	57.5	池添謙一	ハナ	6-7-7-6	36.3	524(－2)	4.1②	中竹和也(栗東)	
9	⑩	マイネルウィルトス	牡8	57.5	石川裕紀人	2	10-6-6-6	36.6	486(＋8)	14.7⑤	宮　徹(栗東)	
10	⑤	フォワードアゲン	騸7	54	内田博幸	2½	14-15-15-15	36.1	444(±0)	246.0⑯	加藤和宏(美浦)	
11	⑧	ラーグルフ	牡5	58	丸田恭介	3	5-5-5-4	37.6	500(±0)	37.0⑪	宗像義忠(美浦)	
12	⑦	ペプチドソレイユ	牡4	55	小崎綾也	6	4-2-4-4	38.7	486(－4)	206.9⑮	武　英智(栗東)	
13	⑫	ジャンカズマ	牡6	54	木幡巧也	2½	1-1-1-1	39.4	488(－10)	136.6⑭	小栗　実(栗東)	
14	⑯	ショウナンバシット	牡4	58	佐々木大輔	2½	2-2-2-2	39.6	490(－12)	9.7④	須貝尚介(栗東)	
15	⑮	アドマイヤビルゴ	牡7	57	北村宏司	ハナ	2-2-2-2	39.7	444(＋4)	133.8⑬	友道康夫(栗東)	
16	①	ミクソロジー	牡5	58	三浦皇成	クビ	8-9-9-10	38.9	448(＋4)	16.5⑦	辻野泰之(栗東)	

単勝③3,530円(10ﾍﾝ)　複勝③630円(10ﾍﾝ)　④160円(1ﾍﾝ)　⑨370円(6ﾍﾝ)　枠連②-②5,240円(16ﾍﾝ)
馬連③-④6,660円(23ﾍﾝ)　ワイド③-④2,150円(25ﾍﾝ)　③-⑨5,910円(51ﾍﾝ)　④-⑨910円(8ﾍﾝ)
馬単③-④19,000円(59ﾍﾝ)　3連複③-④-⑨25,070円(82ﾍﾝ)　3連単③-④-⑨231,270円(595ﾍﾝ)



通過タイム：700ﾒｰﾄﾙ 41.8 - 900ﾒｰﾄﾙ 53.9 - 1100ﾒｰﾄﾙ 1:05.7　上り：800ﾒｰﾄﾙ 48.2 - 600ﾒｰﾄﾙ 36.1

アラカルト

- 吉田豊騎手はアルゼンチン共和国杯初勝利。ＪＲＡ重賞は24年初勝利、通算37勝目
- 国枝栄調教師はアルゼンチン共和国杯初勝利。ＪＲＡ重賞は24年5勝目、通算69勝目
- キングカメハメハ産駒はＪＲＡ重賞通算142勝目
- 8歳馬の勝利は85年イナノラバージョン以来39年ぶり、通算2回目
- 白毛馬のＪＲＡ重賞制覇は本馬による22年函館記念に続く通算9勝目

ハヤヤッコ *Hayayakko*

牡　白毛　2016.2.10生
北海道安平町　ノーザンファーム生産
馬主・金子真人ホールディングス㈱　美浦・国枝栄厩舎
馬名意味・速くて白い

ウェイブウインドUSA系　F2-w

キングカメハメハ 鹿毛　2001	Kingmambo 鹿毛　1990	Mr.Prospector
		Miesque
	マンファスIRE 黒鹿毛　1991	Last Tycoon
		Pilot Bird
マシュマロ 白毛　2009	クロフネUSA 芦毛　1998	French Deputy
		Blue Avenue
	シラユキヒメ 白毛　1996	サンデーサイレンスUSA
		ウェイブウインドUSA

5代までのクロス：Northern Dancer ５×５×５×M５

INTERVIEW

木村浩崇厩舎長（ノーザンファーム早来）

多くの驚きと感動を伝えてもらいたいです

今年の夏は牧場で調整をおこなってきましたが、年齢を感じさせないような若々しい動きをみせていました。距離を延ばしたタイランドCで好走したものの、今回はハンデも背負っていたので勝った時にはビックリしました。育成時は芝向きだと思っていたのに初重賞勝利がダートだったことにも驚かせられましたし、今後も多くの驚きと感動を伝えてもらいたいです。

父キングカメハメハ

北海道早来町　ノーザンファーム生産　持込　中央8戦7勝(日本ダービーGI、NHKマイルCGI、神戸新聞杯GII、毎日杯GIII)、最優秀3歳牡馬、05年から供用、19年死亡。10～11年日本リーディングサイヤー。08～09年日本2歳リーディングサイヤー〔代表産駒〕**ドゥラメンテ**、**レイデオロ**、**ロードカナロア**、**ラブリーデイ**、**ホッコータルマエ**、**ローズキングダム**、**アパパネ**、**レッツゴードンキ**、**チュウワウィザード**、**スタニングローズ**、**ミッキーロケット**、**リオンディーズ**、**ルーラーシップ**、**ベルシャザール**、**ジュンライトボルト**、**ペプチドナイル**、**ハタノヴァンクール**、**タイセイレジェンド**（以上GI/JpnI勝ち馬）

母マシュマロ

北海道安平町　ノーザンファーム生産　中央11戦2勝、地方1戦0勝

ハヤヤッコ　本馬(16 牡父キングカメハメハ)中央42戦7勝(アルゼンチン共和国杯GII、函館記念GIII、レパードSGIII、ブラジルC・L、スレイプニルSOP、中日新聞杯GIII2着、総武SOP2着、ポルックスSOP2着、BSN賞・L3着、タイランドCOP3着)　獲得総賞金306,140,000円

ピオノノ(17 牡父キングカメハメハ)中央18戦2勝、地方1戦0勝(北海道2歳優駿JpnIII3着)

(18 牡父ラブリーデイ)

モロキニムーン(19 牡父キングカメハメハ)中央6戦0勝

ケオケオ(20 牡父ラブリーデイ)

(24 牡父レイデオロ)

※21(流産)、22(死産)、23(前年種付せず)

祖母シラユキヒメ

北海道早来町　ノーザンファーム生産　中央0勝。17年用途変更

ユキチャン(05 牡父クロフネUSA)中央2勝(ミモザ賞)、地方3勝(関東オークスJpnII、TCK女王盃JpnIII、クイーン賞JpnIII、TCK女王盃JpnIII2着、クイーン賞JpnIII2着、マリーンCJpnIII3着)、NAR最優秀牝馬、**アマンテビアンコ**㊛(羽田盃JpnI)の母、**メイケイエール**(京王杯スプリングCGII、セントウルSGII、チューリップ賞GII)の祖母

マシュマロ(09 前出)

マーブルケーキ(11 牝父キングカメハメハ)中央3勝

ブチコ(12 牝父キングカメハメハ)中央4勝(上総S)、**ソダシ**(桜花賞GI、阪神ジュベナイルフィリーズGI、ヴィクトリアマイルGI、最優秀2歳牝馬、最優秀3歳牝馬)、**ママコチャ**㊛(スプリンターズSGI、最優秀スプリンター)の母

実績最上位の古豪が2年ぶりの白星！

秋のGIシリーズの中休みに行われる伝統のハンデGII・アルゼンチン共和国杯は、重賞のタイトルを射程に収める馬たちが〝三つ巴〟の勢力図を形成。日経賞2着、目黒記念3着のクロミナンス、1月の日経新春杯でブローザホーンの2着に食い下がったサヴォーナ、昇級後、初の重賞・新潟記念でハナ差の2着に追い込んだセレシオンが拮抗した支持を集めた。しかし勝利の女神が微笑んだのは、実績面では「最上位の存在」といえた8歳の古豪。トップハンデ(58・5キロ)を背負ったハヤヤッコが目を見張るような追い込みを決め、重賞3勝目を挙げた。

注文をつけて先手を奪ったジャンカズマはペースを緩めずにレースを先導。2コーナーから向正面にかけても立て続けに11秒台のラップを刻み、地力勝負の流れをつくる。サヴォーナとセレシオンは並んで7番手を進み、クロミナンスがその背後を追走。揃って中団につけた人気馬3頭に対し、ダッシュが鈍かったハヤヤッコの吉田豊騎手は縦に長く延びた隊列の最後方で末脚勝負に構えた。

直線に向くと先行勢は一様に失速し、差し馬たちが台頭。5、6頭がズラリと横に広がった坂の上りの追い比べから、クロミナンスが抜け出しをはかったところへ、外からハヤヤッコとタイセイフェリークが襲い掛かる。なかでも闘志に火がついたハヤヤッコは一枚上の末脚と勝負根性を披露。食い下がる内の2頭をねじ伏せるようにしてゴールを駆け抜けた。

キングカメハメハ産駒の本馬は祖母シラユキヒメ譲りの白毛馬で、3歳時のレパードSでは白毛馬初のJRA重賞制覇を、芝路線に矛先を転じた6歳時の函館記念では〝二刀流〟の重賞制覇を成し遂げた。その後も中日新聞杯2着、金鯱賞4着、前走のオープン特別でも3着に食い込むなど、芝の中長距離戦で活躍。ハンデや年齢を敬遠され、周囲の評価は低かったこの日だが、展開も追い風に最後方から見事な追い込みを決め、GIIの舞台で約2年4カ月ぶりの白星を掴んだ。

Y.Hamano